

津の柴田さん 全国へ

最優秀賞 小学生プログラミング県大会

全国選抜小学生プログラミング大会の県大会（中日新聞社など主催）の最終審査が9日、津市の高田短期大であった。最優秀賞には津市の南立誠小6年の柴田晃成さん（12）が選ばれ、来年3月に東京都で開かれる全国大会に出場する。

作品のテーマは「みんなのみらい」で、県内在住や県内の学校に通う小学生から作品を募った。最終審査では、3分間で制作のきっかけや特徴などについて説明し、作品をアピール。発想力や表現力、技術力の観点で審査があった。

父が4月に急死したことをきっかけに、突然大切な人を亡くした家族らの気持ちを癒やそうと、9月に制作



作品について発表する柴田さん＝津市の高田短期大で

を始めた。

プログラミングを最初から組む作業は初めてだったが、独学で調べながら制作を進めた。発表時点では人物の3D画像化と声の編集までしかできなかったが、審査委員長で、同大の広田千明教授は「人の気持ちを大事にした作品で、小学6年では難しい技術にも調べてチャレンジした」と評価した。柴田さんは「全国大会までに完成させて、祖母にも見せてあげたい」と意気込んだ。（清水悠莉子）